

専門機関による外部評価概要

原子力防災訓練、オフサイトセンター運営訓練及び災害対策本部運営訓練について、外部委託評価員（(株)日立パワーソリューションズ）により評価を実施。概要は、以下のとおり。

【原子力防災訓練】（10/22 実施）

訓練項目	良好な点	検討を要する事項
住民避難・誘導訓練	避難バスにおける感染症対策としての座席指定、同行職員による事故状況や避難行程に係る情報発信等、一時集結所から避難所までの一連の住民避難誘導に係る習熟が確認できた。	更なる取り組みとして、自家用車による広域避難訓練を実施する必要がある。
	天候不良で足場が滑りやすくなっていたため、船内への誘導時、同行職員から避難住民に対し、足元注意の喚起があり、適切な対応ができていた。	船舶による海路避難については、感染の疑いのある者とそれ以外の者との分離を行うなどの更なる感染症対策を検討する。
	検温、手指消毒等の手順確認、人と人との距離の確保を徹底した住民誘導など、要員の感染症対策の習熟が確認できた。	フェイスシールド、手指消毒液、手袋、テント型パーテーション等の感染症対策資機材の更なる整備を進めることが望まれる。
原子力災害医療活動訓練	安定ヨウ素剤の緊急配布は、適切に実施されていたほか、体調不良者をテント型パーテーションで隔離し、タブレット端末を活用して問診するなど、感染症対策もしっかりと実施されていた。	一時集結所や避難退域時検査場所では、3密回避など更なる感染症対策の徹底を図ること。また、避難退域時検査においては、汚染拡大防止のため、資機材、設備等は可能な限り養生することが望ましい。

【オフサイトセンター運営訓練】（11/26 実施）

訓練項目	良好な点	検討を要する事項
県現地災害対策本部運営訓練	情報の収集・整理、並びに市町災害対策本部に対する活動要請等の役割を適切に実施していることを確認した。	より厳しい場面を想定した状況付与を設定し、要員の更なる対応能力向上を図ることが望まれる。

【災害対策本部運営訓練】（12/23 実施）

訓練項目	良好な点	検討を要する事項
災害対策本部運営訓練	原子力防災システム（N I S S）等を活用し、関係機関との情報共有や避難等に係る調整など、連携体制が確認できた。	原子力防災システム（N I S S）の操作や運用方法等に係る習熟が十分でない職員もいるため、研修の実施を検討する。